

～誰もが安全で快適に移動できる地域社会を目指して～

# 利用者視点に立った 公共交通サービスの再構築

西条市市民生活部くらし支援課



**LOVE SAIJO**  
まちへの愛が未来をつくる

01

## 地域公共交通の現状と課題

**LOVE SAIJO**  
まちへの愛が未来をつくる

▶ 鉄道（四国旅客鉄道株）

- 予讃線（伊予西条駅、石鎚山駅、伊予氷見駅、伊予小松駅、玉之江駅、  
壬生川駅、伊予三芳駅） ※下線駅は、特急停車駅

▶ フェリー（四国開発フェリー株）

- オレンジフェリー

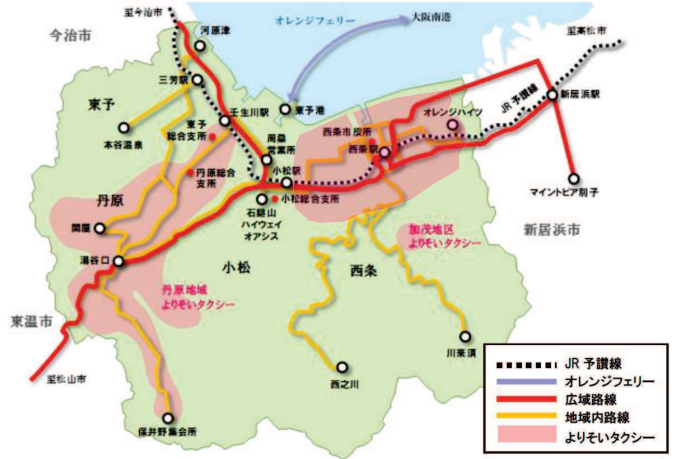
▶ 乗合バス（瀬戸内運輸株、せとうち周桑株、伊予鉄バス株）

- 高速バス（広域交通）
- 特急バス（地域間交通）
- 路線バス（地域内幹線、地域内支線）

▶ デマンド型乗合タクシー

（西条市地域公共交通活性化協議会）

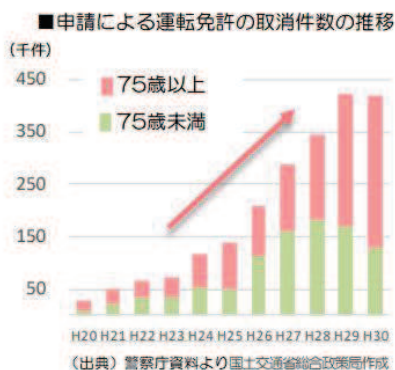
- 西条地域デマンド型乗合タクシー
- 加茂地区デマンド型乗合タクシー
- 丹原地域デマンド型乗合タクシー



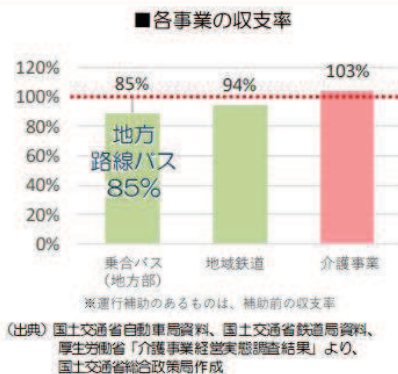
全国的に、

- ▶ 高齢者の交通事故発生割合が増加する中、**75歳以上の免許返納者が急増**
- ▶ 地方における**乗合バス事業の収支は85%程度**に留まっており、根本的な赤字体質が続く
- ▶ バス事業者によっては観光バスで乗合バスの赤字をカバーしてきたが、新型コロナの影響によってビジネスモデルが崩壊 ⇒ **乗合バス事業の継続が困難に**
- ▶ インターネット通販の拡大などによる輸送事業の拡大や人口減少の本格化などによって、**運転手不足がますます顕著に**

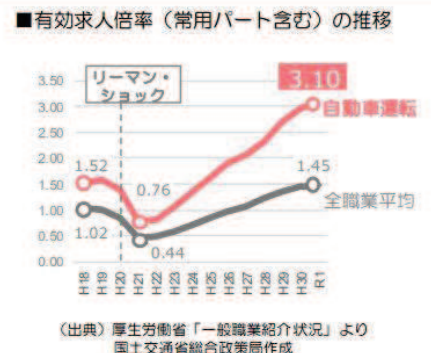
免許返納は年々増加



乗合バス事業の収支は赤字構造



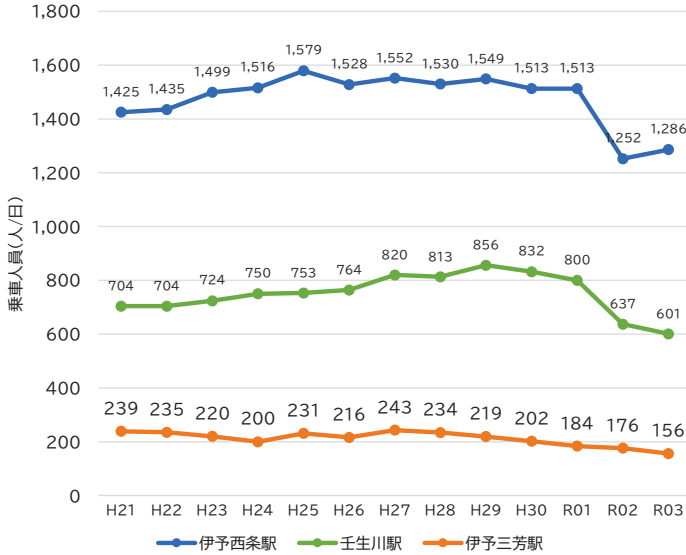
自動車運転事業の人手不足



### ～JR主要駅の乗車人数～

- ・令和元年度までは伊予西条駅及び壬生川駅ともに横ばい又は微増傾向であったが、**新型コロナ等の影響により、令和2年度に大幅な減少**となった
- ・新型コロナが一定落ち着き、アフターコロナ対策とともに、**令和3年度においては若干の回復傾向**に
- ・**伊予三芳駅においては、ゆるやかな減少**が続いている

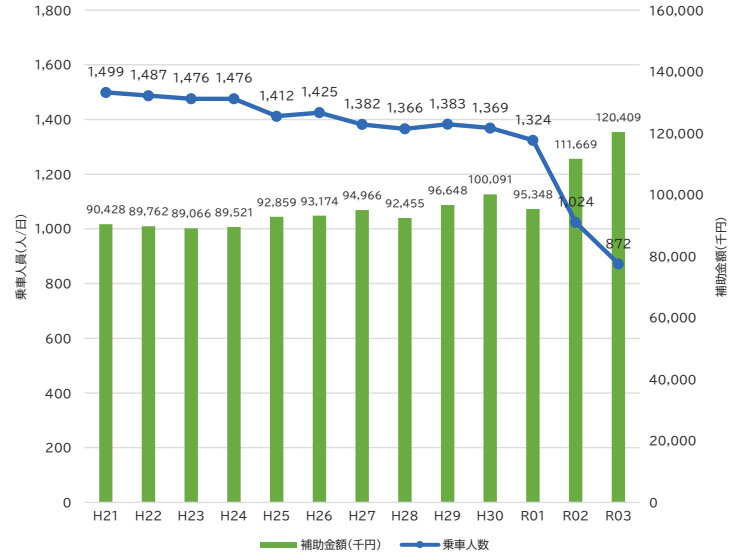
伊予西条駅・壬生川駅・伊予三芳駅 1日当り乗車人員推移



### ～市内路線バスの乗車人数と市補助金～

- ・**バス乗車人数は漸減し続けており、その赤字補填である市補助金は増加し続けている**
- ・特に令和2年度及び3年度は、新型コロナの影響により大幅な減少となり、**令和3年度の市補助金は過去最大**となった
- ・地方バスの維持経費に対しては地方交付税措置がされているものの、財政負担の抑制が課題となっている

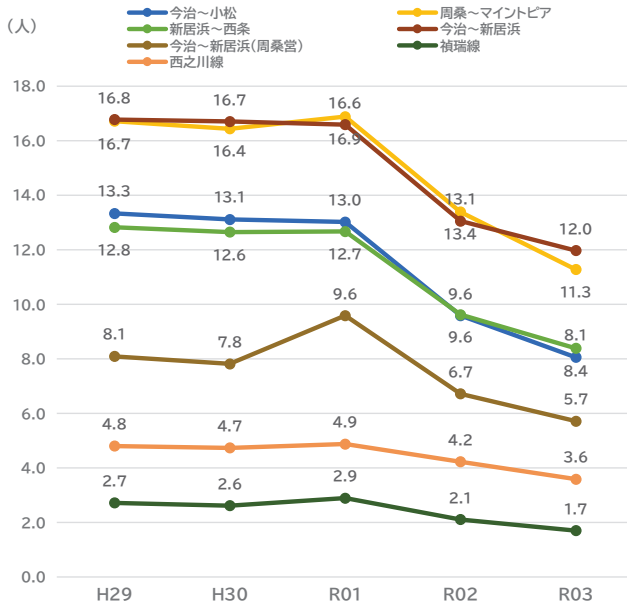
路線バス 1日当り乗車人員及び補助金額推移



### ～瀬戸内運輸バスの利用状況～

- ・いずれの路線も**新型コロナの影響により大幅に減少**
- ・広域幹線(今治小松線、周桑マイントピア線、新居浜西条線、今治新居浜線)は比較的高い利用人数で推移
- ・**西之川線(観光路線)、禎瑞線は利用が低迷**しており、禎瑞線は令和4年9月末で廃止

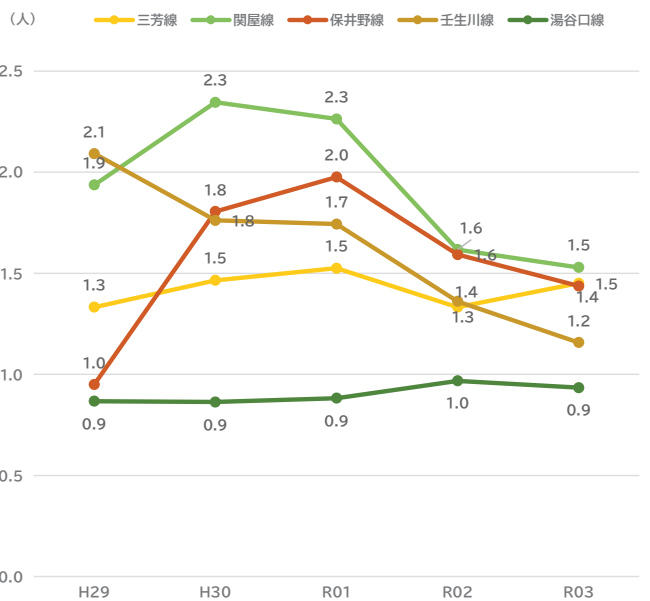
瀬戸内運輸バス 1便当り利用人数の推移



### ～せとうち周桑バスの利用状況～

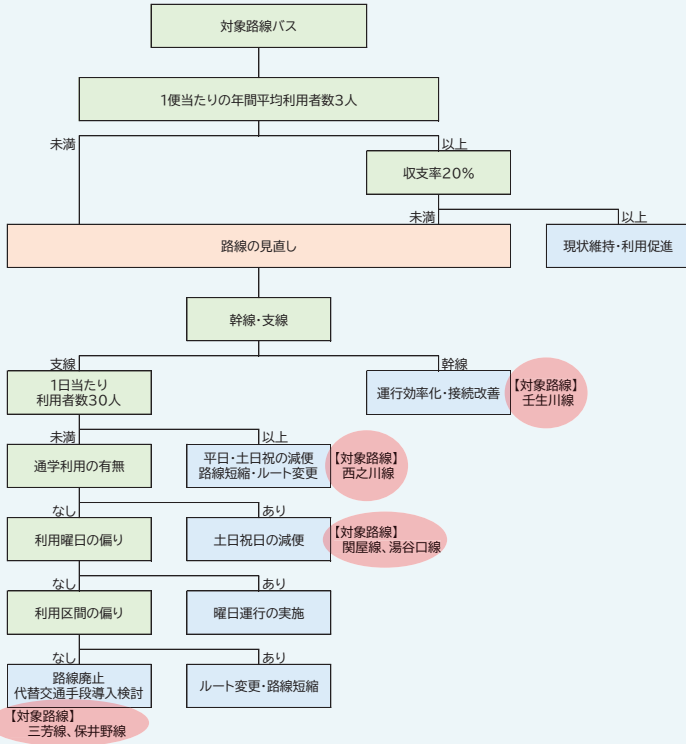
- ・せとうち周桑バスは、市内西部地域を運行する路線
- ・概ね、**1便当り1～2人の乗車**しかなく、廃止を含めた路線再編が急務
- ・特に湯谷口線は0.9人と、余り利用されていない状態が続いている

せとうち周桑バス 1便当り利用人数の推移

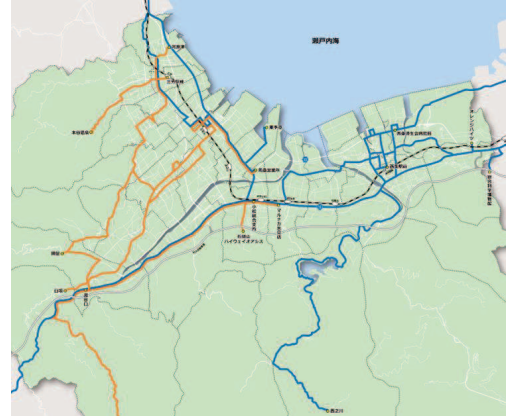


《バス路線見直しフロー図》

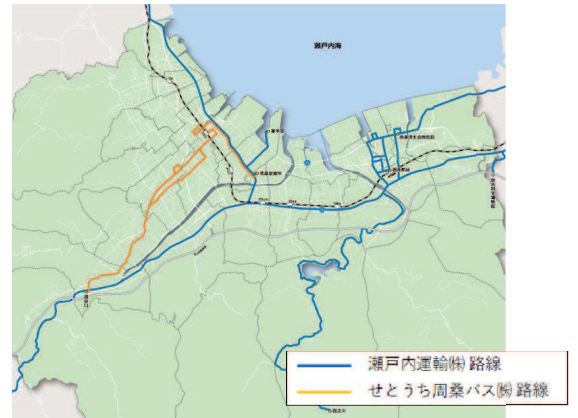
令和2年度において、乗降調査や運行実績を基に、利用者が少なく非効率な路線を再編する際の検討基準となる「バス路線見直しフロー図」を作成



《現在》

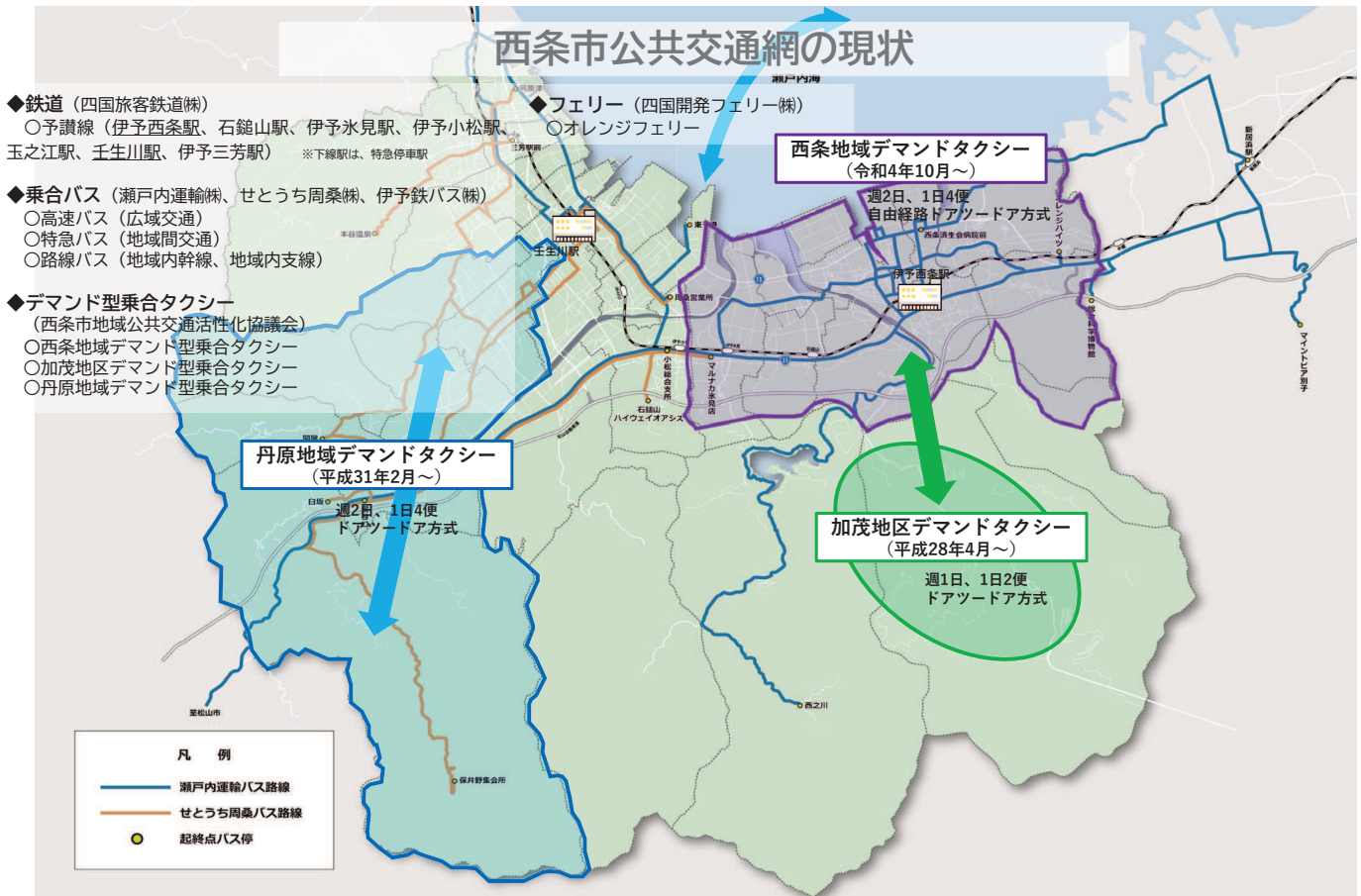


《路線見直し後の姿》



## 地域公共交通政策における市の方針

- ▶ **バス事業者と路線廃止フロー図に基づく路線廃止等について協議**をしています
  - ✓ 令和4年9月廃止路線(済み) ⇒ 禎瑞(～オレンジハイツ)線
  - ✓ 令和5年9月廃止路線(予定) ⇒ 今治小松線(瀬戸内運輸)、保井野線(せとうち周桑)
  - ✓ 令和6年9月廃止路線(予定) ⇒ 三芳線(せとうち周桑)
  - ✓ 廃止も含めた見直し対象路線 ⇒ 関屋線、湯谷口線(せとうち周桑)
- ▶ **壬生川線を西部(東予)地域の循環線として再編**できないか検討します
- ▶ 令和5年度は、
  - ✓ デマンド型乗合タクシーの実績を検証し、改善案を検討します
  - ✓ 公共交通ニーズの把握等社会調査(アンケート)を実施します
- ▶ 令和6年度は、
  - ✓ 地域公共交通計画を改訂します
  - ✓ **バス路線の廃止に合わせて、西部地域(東予、丹原(見直し)、小松)へデマンド型乗合タクシー導入**を検討します
- ▶ デマンド型乗合タクシーの導入にあたっては、**ICTを活用し、利用者の利便性向上や事業者の省力化・効率化等**に取り組みます
- ▶ 公共交通関連事業費(バス補助、デマンドタクシー、福祉系バス・タクシー補助の総計)は、**平成30年度の市負担実績額(約1億2,700万円)を超えないよう**進めます



市内バス路線再編後の公共交通網「イメージ」

